

災害時要援護者避難支援制度の取組事例

1 支援組織概要

組織名：井田共和国第4町会 (中原区) 世帯数：約1,900世帯

2 取組概要

町会独自で回覧板を活用し、要援護者自身の希望による名簿作成を行っています。名簿登載に当たっては個人情報の外部提供に同意していただく方のみとし、関係支援者で共有するとともに、町会で保有している防災倉庫2箇所にもリストを保管し、災害時には駆けつけられる方が名簿を取り出し、安否確認などに活用することとしています。

当町会は、11班16グループがあり、それぞれ正副防災担当者が地区内の要援護者の平常時からの支援者となっています。

3 取組経過等

平成6年に自主防災組織を結成し、町内のハザードマップ作成や井田小学校区での3町内会合同防災訓練の実施を通じて地域全体の防災対策に取り組んできました。

平成21年頃から、災害時要援護者支援の検討を始め、当初は町会役員に驚きをもたれましたが、概ね好意的に受け入れてもらい、制度の仕組みや登録様式など、様々な会員の意見を取り入れながら平成24年度から運用を開始しました。初年度は、要援護者の反応も多くありませんでしたが、制度の認知とともに現在まで登録者は増加を続けています。

4 取組詳細

1 登録者数・・・ 98名

2 支援者・・・ 約30名 要援護者1名当たり、平均2人程度

* 班ごとの正副防災担当者を支援者としています。

3 取組方法

<初回訪問>

- ・名簿の作成が完了した後、各班の正副防災担当者が登録者を訪問します。
- ・登録時に氏名、身体の状態、連絡先、かかりつけ病院、緊急時の連絡先、居住環境、支援が必要な程度、支援に必要な用具等を記入してもらっており、内容の確認をしています。
- ・班の防災担当者の名前と電話番号を記載したシールを配布し、要援護者の電話に貼っていただいています。
- ・災害時の支援を保証するものではなく、地域の方の可能な範囲での活動となることを確認しています。

<平常時の対応>

- ・年1回、回覧板により新規登録者の募集と併せて、既存の登録者に登録更新の確認を行い、要援護者の自宅を訪問しています。
- ・回覧板による更新の意思表示がない場合も、訪問等により意思確認と併せ、要援護者の状況確認を行っています。
- ・年2回の防災班長会議や役員理事会等で、支援する側へ取組内容の周知を図っています。

<災害発生時の対応>

- ・まずは支援者自身の安全確保、次に家族の安全確保を行った上で、名簿に基づいて安否確認等を行うこととしています。
- ・名簿は一覧表は班の正副防災担当者が保有しており、詳細情報が記載された個票を含めたものは、町会の防災担当副会長と、2箇所に設置している町会の防災倉庫に保管しています。
- ・大規模災害時には、避難所に避難した後、名簿上、避難が確認できない場合や安否がわからない場合に、地域全体で要援護者の安否確認などの活動を行います。

5 工夫している点

- ・要援護者の住まいを地図にプロットし、視覚的にすぐに活動に役立てるようにしています。
- ・要援護者の方の登録申請には、特段要件を設けておらず、自身が必要と判断される場合には広く登録を認めています。
- ・防災訓練の際に、要援護者役を設け、実際にリヤカーを用いた搬送訓練のメニューを組み入れる等、災害時にも円滑に対応できるように備えています。
- ・防災訓練の会議、臨時役員会、毎月の役員理事会などで制度の説明や取組内容を周知することで、地域全体での取組を促しています。
- ・民生委員児童委員は、その活動に係る個人情報の取扱いで慎重を期する必要があるため、取組としては町内会単独の取組としています。
- ・要援護者の登録と併せ、「災害救援ボランティア」の募集を行っており、医療、消火、炊出し、力仕事、介護、子守など、住民一人ひとりのできることを事前に申請してもらい、地域の人的資源の把握に努め、いざという際の協力をお願いしています。
- ・災害救援ボランティアの顔合わせ会で、要援護者支援の制度説明を行い、地域での助け合いの拡大を図っています。
- ・災害時、要援護者が支援が必要な場合に周囲に助けを求められるよう、ホイッスル等の配布を予定しています。

6 取組成果

- ・支援者のみではなく、機会を捉えて町内会活動の中で要援護者支援の取組を行っていることを皆さんにお知らせしていたことから、制度への理解が広がり、地域ぐるみで要援護者への見守りをしようという声が上がっています。
- ・毎年、回覧板等で継続して周知してきたことで、要援護者の方へも制度が浸透してきており、年々登録者が増加しています。
- ・災害救援ボランティア制度も併せて実施することで、75名の登録者を中心に地域全体の防災意識向上が図られています。

7 その他

○ 町内会回覧板での「災害時要援護者の登録申請」、「災害救援ボランティアの募集」に関する様式

井田第4町会 自主防災組織からの連絡

第4回 平成27年度 災害時要援護者の自己申請 及び 災害救援ボランティアの募集のお知らせ

～自主防災で大災害を乗り越える～

井田第4町会
会長 北出 正雄

第4町会会員の皆様方に於かれましては益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。
先日の避難訓練には大変大勢の方々のご参加ありがとうございました。
平成23年3月11日に日本は東日本大震災に見舞われました。
昨今は口永良部島・箱根大涌谷の噴火等またギリヤ豪雨や竜巻などの被害が頻発し、
土砂災害の不安や首都圏における直下型地震の切迫性が報道されています。
万が一震度6〜7クラスの大地震が発生した場合この井田でも甚大な被害が予想されます。
過去の災害教訓を踏まえ、行政による被災者の救助や消火活動等には限界があるため
住民相互の救助活動が必須となります。
平成24年から過去3回、標題の件についての募集を行いましたところ多数の方々の
登録申請が行われました。今年度も新規・継続登録の募集を行います。
過去災害時要支援者の申請登録された方(状況の変化等を確認するため継続の
登録をお願いします)及び新規申請登録される方々の自己申請募集及び災害救助
ボランティアをしていただける方の追加募集いたします。

1・災害時要援護者の自己申請（助けてほしい人）

病氣・けが・障害を持つ方がいるご家庭、ひとり暮らしの高齢者など災害時に
援護が必要とおもわれる方の自己申請をお願いします。

2・災害救援ボランティアの募集（お手伝いできる人）

医療・消火・警備・運搬・防災資機材操作・力仕事・炊き出し・栄養管理
清掃・物資の仕分け・介護・子守り・傾聴・手話・情報管理・広報・庶務他
各種資格、経験をお持ちの方、ボランティア経験のある方
これを機会に自主防災に協力したいと思う方、歓迎
災害発生時の救助・救援にあたってはご自身・ご家族の安全を最優先とします

☆ 要援護者の自己申請（新規・継続）及び 災害ボランティアの申請方法について

別紙登録書に必要な事項を記入の上、各班长へ提出願います
詳細な申請登録書用紙を後日記りいたします。

第4町会 自主防災 要援護者・救助活動補助者の登録

区 班 井田共和会第4町会 自主防災組織

要援護申請登録 平成27年度登録締切日 平成27年 月 日

氏名	区・班	住所	電話
	区 班 井田 丁目 番 号		
	区 班 井田 丁目 番 号		
	区 班 井田 丁目 番 号		
	区 班 井田 丁目 番 号		
	区 班 井田 丁目 番 号		
	区 班 井田 丁目 番 号		
	区 班 井田 丁目 番 号		
	区 班 井田 丁目 番 号		
	区 班 井田 丁目 番 号		
	区 班 井田 丁目 番 号		

救助活動補助者(ボランティア)登録

氏名	区・班	住所	電話
	区 班 井田 丁目 番 号		
	区 班 井田 丁目 番 号		
	区 班 井田 丁目 番 号		
	区 班 井田 丁目 番 号		
	区 班 井田 丁目 番 号		
	区 班 井田 丁目 番 号		
	区 班 井田 丁目 番 号		
	区 班 井田 丁目 番 号		
	区 班 井田 丁目 番 号		
	区 班 井田 丁目 番 号		

*各班长・理事の方へ この登録書は登録者がいない状態で空白であっても必ず返却願います。
理事の方は取りまとめの上、町会長及び副会長様までお届け願います。

○ 自己申請の際に記入していただく様式

平成27年度 要援護者自己申請書(新規・継続) 井田共和会第4町会 自主防災組織
○印で囲ってください

要援護者世帯の世帯主名	フリガナ	平成 年 月 日
要援護者本人の氏名		状況・病名
世帯主との続柄		高齢 その他
性別・年齢・身体状況	性別・男女 才	身体不自由

要援護世帯の住所及び連絡先	住所 井田 丁目 番 号	区 班
電話	携帯	
FAX	e-mail	
掛かり付けの病院	名称	電話
所在地		主治医
緊急時の連絡先	氏名	電話 & 携帯
		勤務先の場合は会社名

緊急時支援が必要な程度 (災害等の緊急事態が発生したとき避難などに必要な支援の程度)

() 家族が揃っているときは、避難時の支援は必要としない

該当項目 () 家族だけでは、避難は難しい

に○印を () 避難するときは、家族の同伴が必要

付ける () その他

緊急避難の時、どんな補助員や何人かを必要としますか

同伴歩行	おんぶ	担架	車椅子	自家保有	一般車両	特殊車両
			要 否	有 無		
			女性なら	男性なら	人	その他

要援護者が一人になることがありますか 昼間 夜間 休日 その他

要援護者に特別食が必要ですか 必要() 必要なし

確認事項 緊急事態が発生したとき、自主防災組織委員・近所の支援協力者・民生児童委員等が安全確認等を行うことがあります。これらの支援協力者に、この自己申請書に記載の情報を知らせておくことが必要です。記載の情報を知らせておくことが必要です。緊急事態発生時に備え、下記の支援協力者に本申請書記載の内容を開示しても宜しいですか。() 情報開示しても良い。 その他()

近隣居住支援協力者がいらっしゃる方は記入願います(民生委員・自主防災委員は自主防災組織で記入します)

緊急事態発生時の支援協力者				
氏名	住所	区・班	電話	携帯
民生児童委員	井田	区 班		
	井田	区 班		
自主防災委員	井田	区 班		
	井田	区 班		
近隣居住支援協力者 (また仲良くお付き合い をしている方々等)	井田	区 班		
	井田	区 班		

救助活動補助者(ボランティア)登録書

登録日 平成 年 月 日

井田共和会第4町会 自主防災組織

*各項目について、記入または該当するものに○をして下さい

フリガナ	生年 昭和 平成
氏名 (男・女)	月 日 (歳)
自宅	本人・携帯等
住所	連絡先 緊急時 氏名 (続柄) 電話
職業	・学生(高校生 大学生) ・社会人 ・その他()
活動	・物資の運搬・仕分け ・清掃・片付け ・泥かき
できる	・付き添い ・話し相手 ・介護
内容	・その他
資格	・医師 ・看護師 ・救急救命士 ・調理師・栄養士 ・介護福祉士
特技	・ヘルパー(級) ・要約筆記 ・建築士 ・大工 ・手話通訳
等	・外国語(語) ・大型免許 ・その他()
災害ボランティアの経験の有無	・有り ・無し
その他	
付記	

*記載の個人情報については、本人の許可なくボランティア業務の移管する以外の利用並びに第三者への提供は行いません

○ 平成27年度土砂災害を想定した防災訓練

